

制服は必要か「最終弁論」

司会 では、これから否定側の最終弁論に入ります。時間は1分です。

否定側の最終弁論

これから否定側の最終弁論を始めます。

まず、制服は学校での勉強や生活と直接関係がないということです。制服でなければ勉強ができないとか、生活ができないというわけではありません。私服でいいわけです。

二つめは、個性と自由の問題です。髪の色や靴と同じように、服も自由でありたいと思います。それは、私たちが何かまわりのことにこだわらないで、自由でいたいという気持ちの表れでもあります。制服は私たちから個性と自由を奪うものです。

最後に、制服はやはり活動的でないということです。昼休みの外での遊びや掃除などにも制服は適した服ではないと思います。

以上で、「制服は必要ない」という否定側の最終弁論を終わります。

司会 ありがとうございました。55秒でした。では続けて、肯定側の最終弁論を始めてください。1分間です。

肯定側の最終弁論

これから肯定側の最終弁論を行います。

一つは、クラスの大部分の人が、「制服は必要だ」と考えているという事実です。立論で言ったように、制服は学校の象徴でもあります。自分の学校に誇りと自信をもつことは大切だと思います。

次に、勉強に集中できるということです。流行のファッションに気を散らしたり、今日はどの服を着るか選ぶのに時間をかけたりしないですみます。

三つめは、非行防止につながるということです。自由とか個性とか言っても、私たちは中学生です。みんなが楽しく、明るい学校生活を送るためには、ある程度の規則やルールが必要です。人にいやな思いをさせたり、不快な気持ちにさせたりするのは、集団生活ではよくないことです。人の目も大切にすべきです。

これで、「制服は必要である」という肯定側の最終弁論を終わります。

司会 1分ちょうどです。ありがとうございました。それでは、判定表に記入してください。討論に参加したグループもそれぞれ書いてください。

それでは、先生に講評をお願いします。